



札幌建設管理部

事業一覧および事業箇所図は札幌建設管理部の社会資本整備に関する
 アカウンタビリティのページにて公表します。（6月公表予定）
<https://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/skk/a0008/b0001/>



札幌建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

《概要》

札幌建設管理部管内は、石狩、空知地域の札幌市を含む32の市町村で構成され、全道人口の約半分を占めています。このような行政区域を受けもつなかで、地域の経済を支え、安全・安心なまちづくりを目指し、道路、河川、砂防などの整備を進めています。

まず、近年の異常気象などによる水害や土砂災害の対策について、ハードとソフトが一体となった取組を進めており、ハード対策としては、札幌市を流下する望月寒川において令和4年度に運用を開始した放水路トンネルと合わせ河川整備を進めているほか、平成24年に大きな浸水被害が発生した岩見沢市を流下する利根別川において河川整備などを進めています。ソフト対策としては、洪水浸水想定区域図の公表や土砂災害警戒区域等の指定といった災害リスク情報の提供や既存ダム の 利 水 容 量 を 有 効 に 活 用 す る 事 前 放 流 の 取 組 を 関 係 機 関 と 連 携 し 進 め て い ま す。

また、これまで整備してきた施設については、長寿命化計画に基づく施設の点検や補修、更新を行っています。橋梁の長寿命化の取組として、老朽化した長大橋の架け替え工事を実施しており、昭和33年に供用した増毛稲田線の妹背牛橋（橋長580m）を令和5年10月に新橋への供用開始を行っており、昭和34年供用の恵庭栗山線の馬追橋（橋長311m）の架け替え工事を進め、予防保全を目指しています。河川管理施設においても、長寿命化計画に基づき発寒古川救急排水ポンプ設備や旧中の川排水機場の補修、樋門・樋管の補修・更新を実施しています。

そのほか、美唄富良野線では、通行不能区間を解消し、南空知地域と上川南部地域の短絡ルートを形成し、農産物流の効率化支援や観光アクセス向上を目的とした整備を進めており、きたひろしま総合運動公園線では、令和5年3月に開業した北海道ポールパークFピレッジにあわせ、周辺幹線道路の交通渋滞緩和のため、延長約2.8kmのアクセス道路の整備を進めてきました。

札幌建設管理部では、道民の安全・安心や社会経済活動を支えるため、引き続き良質な社会資本の整備を着実に進めてまいります。